

## 与信管理常識クイズ【解答】

次の質問の正誤を判断し、正しいものには○、誤りにはXをつけその理由を簡素に説明してください。

- (X) Q1：貸倒損失や貸倒引当金額は与信管理の失敗額といえるもので、それらの額が**大きい会社ほどルーズな与信管理をしている**といえる。——> 営業戦略による。\*P14
- (X) Q2：民法の「契約自由の原則」により、契約締結の有無、誰を相手とするか、契約内容等は**自由に当事者間で選択できる**。——> 弱者保護のために一部の領域では制限される（例：消費者法、労働法、下請代金支払遅延等防止法）。\*P86
- (X) Q3：契約書には収入印紙を印紙税法の規定どおり貼付して消印しないと、当然に契約書の効力に**制限を受ける**。——> 印紙税法違反だが、民商法上の効力には影響なし。\*P94
- (X) Q4：契約上の特約がなくとも、代金が支払われていない自社納入商品は倒産した納入先から**取り戻せる**。——> 所有権留保特約がないと、取り戻しは困難といえる。\*P96
- (X) Q5：手形は手形法に基づく有価証券で、手形法上の要件を満たしても全国銀行協会が定めた統一手形用紙を用いないと**法的に無効**である。——> 法的には有効であるが、市場では流通しない。  
\*P99
- (X) Q6：商業登記簿謄本、不動産登記簿謄本、決算書、税務申告書の中で与信管理について一番多量かつ重要な情報は、**商業登記簿謄本**である。——> 税務申告書である。\*P155
- (X) Q7：会社の形態（例えば株式会社）がわかれば、最低資本金が**わかる**。——> 中小企業挑戦支援法の特例があり、形態だけでは判定出来ない（例：資本金1円の株式会社）。\*P163
- (X) Q8：流動比率は短期の安全性をみる重要な財務分析の評価項目で、低いほど短期の支払能力は**高い**といえる。——> 低い（流動比率＝流動資産／流動負債）。\*P173
- (X) Q9：小切手、約束手形、売掛金のうち一番消滅時効が長いのは、**売掛金**である。——> 約束手形（3年）。小切手（6ヶ月）、売掛金（2年）。  
\*P187
- (X) Q10：粉飾決算は財務分析手法に熟知さえすれば、**比較的簡単**に見分けることができる。——> プロがやった場合には、簡単には見分けられない。  
\*P200

Training Purpose Only